

Step to the future

未来への前進

姫路商工会議所支援で未来へ、
ぐっと前進された会員事業所をご紹介します！

人手不足時代の現場を支え、 技術を育てる 電動モビリティ開発への挑戦

elever labo 合同会社

代表者 上月 千津

所在地：姫路市山畑新田692-6

事業内容：林業機械設計（開発）、製作、販売



Q これまでの歩みを教えてください

A 市内のものづくり企業において、電動モビリティの企画・開発、設計・製造に10年以上携わってきました。ものづくりには「自分の力で製品を生み出すチャンスがある」と感じており、その想いを大切にしながら経験を積んできました。そして2021年、自らの「判断・決意・覚悟」をもって事業を進めていきたいとの思いから、elever labo合同会社を設立しました。創業以来、林業機械の開発・設計・製造・販売に取り組んでいます。現在は、急斜面においても安全に運搬作業ができる、電動モーターを搭載した重量物運搬車を主力製品として展開しています。

Q 『電動クローラ型一輪車』の開発に取り組んだきっかけは？

A 林業の現場では、近年の人手不足や従事者の高齢化により、山間部での運搬作業の機械化・自動化が強く求められるようになってきました。こうした課題に対し、これまで培ってきた経験・知識・技術を活かしたいと考え、ベースとなるマシンの開発に着手しました。試作を何度も重ねながら改良を続け、林野庁や森林総合研究所、森林組合連合会とも連携して実証実験を実施しました。その結果、約4年の歳月をかけて第1号となる『電動クローラ型一輪車』が完成し、特許も取得しました。この電動クローラ型一輪車は、森林組合などの林業従事者をはじめ、土木工事や電線等の架線設置事業者、さらには災害時の非常物資運搬など、多方面での活用が期待されており、現在は、全国の企業や自治体等に向けて販路拡大を進めています。



Q どのように商工会議所を利用しましたか？

A 事業展開にあたり、融資や補助金に関する相談を行いました。また、事業計画の整理や方向性の確認など、継続的な伴走支援も受けました。第三者に相談することで、自分自身の考えや課題を整理することができ、事業を進めるうえで大きな支えになりました。

Q 現在、そして今後の目標について教えてください

A 電動クローラ型一輪車については、現在も改良を重ねており、運搬作業だけでなく、採掘や植林にも活用できるよう、各種アタッチメントの開発にも着手しています。現在は当社で一台ずつ製造していますが、今後は量産化に向けた体制構築も進めていきたいと考えています。

さらに、一輪車よりも重量物の運搬を可能とし、悪路や大きな段差でも作業できる大型の『電動クローラ型4輪車』の開発にも取り組んでいます。ベンチャー企業向けの補助金を活用しながら、協力企業と連携して実証実験を重ねています。

協力企業には、ものづくりが好きな若手社員も多く、当社の製品開発に積極的に携わっていただいています。そうした若い技術者たちとともに新たな製品づくりに挑戦できることを、大変心強く感じています。

直近の目標は、現在開発している機械を、他社との協業を通じて確実に市場へ送り出せる製品へと進化させることです。また、協業先の若手技術者に対して、自分がこれまで培ってきた技術や考え方を伝えていきたいとも考えています。将来的には、さまざまな技術の研究開発に取り組む企業へ成長していきたいと考えています。新しい技術だけを追い求めるのではなく、古い技術であっても現代技術と融合させることで、新たな価値を生み出せる可能性があります。

エルヴェラボの「エルヴェ」は、フランス語で「育てる」を意味します。その名のとおり、技術や人、可能性を育て続けられる会社を目指していきます。